

適用規格																										
定 格	使用温度範囲	-45℃～ + 125℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ + 60℃ (注2)																						
	電 圧	AC 50 V	適合コネクタ	DF12#-*DS-0.5V(**)																						
	電 流	0.3 A																								
性 能																										
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT																					
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○																					
	表示	目視にて確認する。		○	○																					
電 気 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	50 mΩ以下	○	—																					
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ以上	○	—																					
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—																					
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>極数</th> <th>挿入力 (N)以下</th> <th>抜去力 (N)以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20</td><td>23.4</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>30</td><td>27.0</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>36</td><td>29.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>40</td><td>30.6</td><td>4.2</td></tr> <tr><td>50</td><td>34.2</td><td>5.0</td></tr> <tr><td>60</td><td>38.0</td><td>6.0</td></tr> </tbody> </table>	極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上	20	23.4	2.6	30	27.0	3.4	36	29.0	4.0	40	30.6	4.2	50	34.2	5.0	60	38.0	6.0	○	—
	極数	挿入力 (N)以下	抜去力 (N)以上																							
	20	23.4	2.6																							
	30	27.0	3.4																							
36	29.0	4.0																								
40	30.6	4.2																								
50	34.2	5.0																								
60	38.0	6.0																								
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																					
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																					
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																					
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																					
	温度サイクル	温度 -65 → 15~35 → 125 → 15~35℃ 時間 30 → 10~15 → 30 → 10~15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—																					
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150~180℃ 90~120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田 (リペア) の場合 】 半田ごてで 350℃, 3秒の条件にて半田付け を行う。但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	—																					
	二酸化硫黄	濃度 10ppm, 96時間放置する。 (試験規格 : J E I D A - 3 9)	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																					
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	①接触抵抗 : 50 mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。	○	—																					
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用 されます。 試験規格の記載のない試験方法は J I S C 5 4 0 2を適用しています。																										
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日																					
△																										
			承認	MO. NAKAMURA	05.10.31																					
			検 図	TS. MIYAZAKI	05.10.31																					
			担 当	YH. MICHIDA	05.10.31																					
			製 図	HK. MURAKAMI	05.10.26																					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-163509-06																						
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	DF12 (3.5) -*DP-0.5V (86)																						
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL537	△ 1/1																					